

科目ナンバー： 研究・CNS：MA1013／助産：MmA1013

授業コード： 6610000100

講義科目名称： 看護学研究法

英文科目名称： Nursing Research Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	必修
担当教員			
◎石田和子、大久保明子、岡村典子、高柳智子、常盤洋子、高林知佳子、堀江正男、徐淑子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	大久保 明子	同上	207	ohkubo@niigata-cn.ac.jp
	岡村 典子	同上	216	norio@niigata-cn.ac.jp
	高柳 智子	同上	203	takatomo@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	高林 知佳子	同上	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp
	堀江 正男	同上	315	mhorie@niigata-cn.ac.jp
	徐 淑子	同上	316	suhs@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 基盤看護分野			
	【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】
	研究	○		
	CNS			◎
	助産		◎	

到達目標	1 基本的な研究デザインとその基盤となる前提や科学的推論方法を応用することができる。 2 看護実践の場における研究活動を展開するために必要な知識を使用し、研究課題の設定、計画立案・実施、論文作成が実施できる。 3 卓越した看護実践に求められる Evidence Based Medicine (EBM) / Nursing (EBN) へのアプローチの知識を活用することができる。
------	--

授業概要	看護学における研究のプロセスと方法を幅広く学び、修士課程における各自の研究の基盤作りをする。授業は、主に学生によるプレゼンテーションとそれに基づくディスカッションによって展開する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業の意義と学習方法 学修内容：・授業「看護学研究法」の目的と展開 ・看護学研究の定義 ・看護学研究実施に向けた必須知識とその修得 事前学修：自分の研究課題を想起して参加する 事後学修：最終レポートに学びをまとめる 備考：石田
	2	授業内容 授業形態：講義・グループ討議（対面） 学修課題：文献検索 1 学修内容：・文献検討の意義 ・データベースの活用方法 ・文献クリティーク 事前学修：事前課題の研究論文を熟読し、文献クリティークをする 事後学修：文献検討の意義についてのレポートを作成する 備考：大久保
	3	授業内容 授業形態：演習（対面） 学修課題：文献検索 2 学修内容：・和文献検索の実際 事前学修：医学中央雑誌にアクセスする 事後学修：医学中央雑誌を用いて、関心のあるテーマについて検索し、検索履歴をまとめる 備考：大久保、吉原司書
	4	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：文献検索 3 学修内容：海外文献検索の実際 事前学修：海外文献検索のデータベース“CINAHL”にアクセスをしてみる

5	<p>事後学修：自身の関心のある課題について、海外文献を検索する 備考：岡村</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習 学修課題：海外論文の購読（英論文を読む）1 学修内容：海外文献検索の実際・英論文を読む</p> <p>事前学修： 事後学修： 備考：徐</p>
6	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習 学修課題：海外論文の購読（英論文を読む）2 学修内容：海外文献検索の実際・英論文を読む</p> <p>事前学修： 事後学修： 備考：徐</p>
7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習 学修課題：海外論文の購読（英論文を読む）3 学修内容：海外文献検索の実際・英論文を読む 事前学修：自身の研究関心に近い日本語のキーワードを3つ挙げ、それを英訳（またはMeSH検索）してくる 事後学修：講義で検索した論文の中から1編を選び、指定の項目をA4用紙1枚程度にまとめる 備考：堀江</p>
8	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・演習 学修課題：海外論文の購読（英論文を読む）4 学修内容：海外文献検索の実際・英論文を読む 事前学修：日本語の看護研究論文（何でも可）を1編読み、IMRaD（序論、方法、結果、考察）の境目がどこにあるかを確認してくる 事後学修：自分の関心領域の英語論文を1編選び、講義で紹介した「マトリックス表」を埋め、さらに「その論文の最も価値がある点と、弱点」を日本語で記述する 備考：堀江</p>
9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼン・討議 学修課題：質的研究とその方法① 学修内容： ・質的研究と量的研究 ・質的研究成果の信用性とその限界 ①内容分析 ②グランデッド・セオリー ③質的研究他</p> <p>事前学修：内容分析・グランデッドセオリー・他の論文を読んでくる（読んだ論文を提出する） 事後学修：自分の研究課題による上記の論文を読む 備考：石田</p>
10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼン・討議 学修課題：質的研究とその方法① 学修内容： ・質的研究と量的研究 ・質的研究成果の信用性とその限界 ①内容分析 ②グランデッド・セオリー ③質的研究他</p> <p>事前学修：内容分析・グランデッドセオリー・他の論文を読んでくる（読んだ論文を提出する） 事後学修：自分の研究課題による上記の論文を読む 備考：石田</p>
11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義・討議 学修課題：量的研究とその方法 1 学修内容： ・量的研究デザインの特徴と適用 ・量的研究のプロセス ・概念枠組みと概念的定義・操作的定義</p> <p>事前学修：量的研究の基盤となる統計学に関する事前課題に取り組む 事後学修：自身の関心領域の量的研究論文を読み、論文内の概念枠組み、概念的定義・操作的定義、変数を整理する。 備考：高柳</p>
12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：量的研究とその方法 2 学修内容： ・標本の抽出方法 ・データ収集方法（質問紙法/観察法/生理生物学的測定方法）</p> <p>事前学修：学修内容を分担しプレゼンテーションできるようまとめておく 事後学修：自身の関心領域の量的研究論文を読み、データ収集方法の適用を把握する。 備考：高柳</p>
13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：量的研究とその方法 3 学修内容： ・量的研究における厳密性の強化 ・外的妥当性と内的妥当性 ・測定の精度 ・検出力</p> <p>事前学修：学修内容を分担しプレゼンテーションできるようまとめておく</p>

	<p>事後学修：自身の関心領域の量的研究論文を読み、研究の厳密性確保の適用を把握する。 備考：高柳 授業内容</p> <p>14</p> <p>学修課題：研究成果を実践に活かすアプローチ 学修内容：・EBN・EBMの定義 ・エビデンスに基づく看護介入のステップ ・エビデンスに基づく診療ガイドラインの活用</p> <p>事前学修：EBN・EBMの定義と、エビデンスに基づく実践の意義について確認する。 事後学修：学んだEBNのステップを振り返り、研究成果を看護実践にどう活かせるかを整理する。 備考：高林</p> <p>15</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護研究と倫理 学修内容：・研究倫理 ・本学倫理審査のプロセス</p> <p>事前学修：人を対象とする生命科学・帷幄系研究に関する倫理指針ガイドラインと本学の倫理規定、倫理審査書類および手続きを確認する。 事後学修：自己の研究課題における倫理的配慮について検討する。 備考：常盤</p> <p>16</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：まとめ 学修内容：プレゼンテーション ①講義1～15を踏まえて学んだこと、役立てることは何か？ ②自らの研究に役立てる点は何か？ ③②について各自発表しディスカッションを行う</p> <p>事前学修：A41枚程度に上記の内容をまとめてくる 事後学修：上記の内容を再考して提出する 備考：石田</p>
事前・事後学習	事前学習：適宜指示する。 事後学習：適宜指示する。
評価方法、評価基準	目標に対して、授業への主体的参加を重視し、出席、討論素材の準備、プレゼンテーション、討論への参加状況、レポートにより各教員が単元毎に評定する。それらを合算し、総合の評価とする。授業 1 コマ (90分) につき 7 点 (15 回目のみ 2 点) を配点する。
テキスト	特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	バーンズ&グローブ著、黒田裕子他訳 (2015)：看護研究入門原著第9版，エルゼビア・ジャパン，2023. アメリカ心理学会著，前田樹海，江藤裕之(2023)：APA論文作成マニュアル第3版，医学書院. 講義の際、さらに文献を提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。
教員からのメッセージ	大学院の研究的な探究の基盤となります。しっかり修得し自らの課題探究に役立てましょう。
オフィスアワー	各教員に随時メールで確認・調整すること